

みんなのきもちセット 教師用ガイド



LEGO® Education
Preschool

SO MANY WAYS TO
LEARN, TOGETHER



45018

LEGOeducation.jp



education

みんなのきもちセット 教師用ガイド はじめに

対象者

みんなのきもちセット教師用ガイドは、保育園、幼稚園の先生を対象としています。先生が子どもたちの社会的スキル、たとえば、感情の認識と理解、自己表現、建設的な方法でのトラブル解決といったスキルを発達させる際の補助教材として利用できます。

目的

みんなのきもちセット教師用ガイドは、子どもたちが楽しく夢中になりながら、さまざまな感情について学び、共感する心を養う機会を提供します。各レッスンにはシナリオとカラフルなイラストが含まれ、子どもたちと関係が深い問題に直面するキャラクターが描かれます。たとえば、ジェイデンは平均台を歩けるようになりたいと思っていますが、落下してばかりいます。あきらめずに続けられるでしょうか？

みんなのきもちセット教師用ガイドでは、社会や感情に関する重要な話題について、先生が楽しくシンプルに説明する方法を提案しています。各レッスンでは、子どもたちがよく直面するシナリオが提示され、子どもたちは自分やほかの子どもたちの感情や好みについて学びます。

各レッスンを通じて、先生は子どもたちが感情を区別する手助けをします。その際、それぞれの感情に「良い」や「悪い」といったラベル付けはしません。その結果子どもたちは、感情とはさまざまな刺激に対する反応であり、自分の感情と向き合う適切な方法を学ぶことができると理解し始めます。また、様々な感情があることに気づき始めます。こうした過程を経て、子どもたちに新しい言葉を紹介すると、自分の感情を説明し、表現する力が高まります。第二外国語の学習者にとって、実感できる状況の中で新しい単語を学ぶことは、大いに役立ちます。目で見えるきっかけやシナリオは、子どもたちが単語の意味を連想する後押しをします。

子どもたちは、全レッスンに設けられた重要な質問に沿って、社会性&情緒面のスキルを自分なりの方法で発揮するプロセスを進んでいきます。レゴ®デュプロの組み立てアクティビティは、創造力、協調性、問題解決能力を向上させます。

みんなのきもちセットのレッスンは、先生やクラスの必要性に合わせてカスタマイズすることができます。みんなのきもちセット1セットは、一度に8人の子どもたちが使用できます。レッスンでは、ペアになって作業することを提案しています。各レッスンのお話しは、集団遊びの時間にクラス全員に紹介するか、小人数のグループ向けに紹介することができます。アクティビティは、教室全体、または小人数のグループで行うことができます。目次にはレッスンの簡単な説明が記載されています。導入用アクティビティを実施した後は、好きな順番で各レッスンに取り組めます。

また、クラスの状況や設備の状態に合わせてシナリオや内容をカスタマイズするのも、子どもたちをお話しに引き込みやすくします。たとえば、「集団遊び」を「朝の会」に変えたり、プランコでの遊びを自分のクラスに合わせた遊びに変えたりして、お話しをアレンジします。

子どもたちが既に身に付けている知識、語彙、経験に応じて、異なる結果が予想されます。子どもたちの口頭での受け答え、モデル、ごっこ遊びのやり方はさまざまです。子どもたちに関連する質問に変えたり、お話しを作ることで学習効果を高めます。子どもたちは、お話しの中のキャラクターの代わりに、自分や知っている人のモデルを組み立てたがるかもしれません。こうしたアレンジをすることで、学習体験を充実させ、独自性を高めることができます。



みんなのきもちセット 教師用ガイドのレッスンを通じて、子どもたちは以下のスキルを身に付けます。

- 感情を認識し、理解する
- 自分への自信を持つ
- ごっこ遊び
- 共感する心を発達させる
- 問題解決

みんなのきもちセットについて

- みんなのきもちセット教師用ガイドには 12 のレッスンがあります。
- アクティビティには、レゴ® エデュケーションみんなのきもちセット (45018) が必要です
- みんなのきもちセットのレッスンは、4C アプローチに従っています。

レッスンの仕組み

各レッスンは、レゴ® エデュケーション 4C アプローチと呼ばれる、自然な流れの中で効果的な学習体験を得られるような仕組みを採用しています。各レッスンは、「Connect (結びつける) 」と「Construct (組み立てる) 」という 2 つのフェーズ (所要時間 20 分) から始まります。子どもたちがレッスンに積極的に取り組めるように、その後、「Contemplate (よく考える) 」および「Continue (さらに続ける) 」フェーズに進みます。

Connect (結びつける)

Connect フェーズでは、短いお話しや話し合いを通じて子どもたちの好奇心をかきたて、知っていることを活用させつつ、新しい学習体験への準備を整えます。

Construct (組み立てる)

このフェーズで子どもたちは、実践的な組み立てアクティビティに参加します。人、場所、モノ、アイデアのモデルを手で組み立てている間、頭の中では組み立てているものに関する新しい情報を整理、保存するプロセスが進行しています。

Contemplate (よく考える)

Contemplate (よく考えてみる) フェーズでは、子どもたちに取り組んだことを振り返り、レッスンの Construct (組み立てる) フェーズで身に付けたことについて話し、自分の意見を共有する機会を設けます。子どもたちは各レッスンで、自分のモデルを使い、ごっこ遊びをしながらトラブルを解決するように促されます。

Continue (さらに続ける)

このフェーズでの新しいチャレンジは、子どもたちがこれまでレッスンで学んだことを土台にしています。こうした拡張的アクティビティによって、子どもたちは新しく学んだ知識を応用できるようにします。

注意すべき点

みんなのきもちセットのレッスンの策定には、アメリカの乳幼児の社会性および情緒面の発達に関するガイドラインを参照しています。次ページの表は、このアメリカの教育ガイドラインをベースに、日本の幼稚園の学習指導要領についても触れています。各レッスンの最後に掲げるヒントを使って、関連する社会的・情緒的スキルをそれぞれの子どもたちが習得しているかどうかを判断できます。このヒントに掲げる項目は、各レッスンで実践され、または取り上げられている特定のスキルや情報を対象にしています。



みんなのきもちセット 学びのねらい		学習のねらい											
学習のねらい	みんなのきもちセット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
社会性	社会性	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
情緒	情緒	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
認知	認知	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
身体	身体	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
言語	言語	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
芸術	芸術	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
科学	科学	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
数学	数学	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
外国語	外国語	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
情報	情報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
総合	総合	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

